

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3年3月23日

事業所名 豊橋市こども発達センター

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた、改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0		
	② 職員の配置数は適切である	6	0		
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6	0	・個々に合った座位保持装置等の補装具を使用しています。	
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6	0	・生活空間が清潔に保てるように、清掃や必要な消毒を毎日行っています。 ・心地よく過ごせるよう、室温や湿度を調節しています。 ・活動内容に合わせて活動場所を変えるなど工夫しています。	・汚物槽が設置されていないので、感染に注意して処理しています。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	0	・業務内容に合わせて適切な専門性を持った職員が中心となり、全関係職員参加で目標の共有や反省を行っています。	・目標設定や振り返りのための話し合いがより活発に行えるように工夫していきます。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0		・頂いた意見を元に、業務改善を図っていきます。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0		
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	6		・第三者による外部評価は行っていません。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	1	・毎年、研修会への参加を積極的に行っていますが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため研修会の開催が少なく、参加できませんでした。	・重症心身障害児の療育に関する研修が少なく、情報を集めるのに苦労しています。 ・オンラインの研修会にも積極的に参加していきます。
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	1	・懇談会などで保護者のニーズを聞き取り、児童発達支援計画に反映させています。 ・子どもの課題については、これまでの生育歴や各側面の発達状況などを丁寧に把握して設定しています。	・子どものニーズをとらえることが難しいですが、多職種目の目で多角的にアセスメントできるように心がけています。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	4	・標準化されたアセスメントツールは使用していません。	・重症心身障害児の療育に利用できる標準化されたアセスメントツールがないので、個々に合わせて使用できる評価を参考にしながらアセスメントをしています。
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	1		・地域の一人として暮らしていくための「地域支援」の支援内容が不十分であるので、広げていけるようにします。
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	1	・毎月、全関係職員で支援計画を確認しながら支援の実施状況をモニタリングしています。	
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1	・保育士が立案したプログラムに他職種の意見も加えて実際の活動を行っています。	
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	・同じプログラムでも個々の状況や反応に合わせてやり方を変えたり発展させたりしています。 ・繰り返しの経験が必要な場合もあるので、色々な経験をする事と繰り返すことのバランスに気を付けています。	・さらにプログラムのバリエーションが広がるよう、研修会への参加や他事業所の見学等を検討します。
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6	0	・重症心身障害児の特性から集団活動の難しさはありますが、お友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じられるようにしています。	・個別活動を行う際、どの職員でも同じ対応ができるように、情報交換を丁寧に行っていきます。

	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0		
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気づいたことはその場で相談しながら支援しています。</li> <li>・記録でその日の様子は共有できるようにしています。</li> <li>・週末に全関係職員で振り返りと次週の支援についての方針を話し合っています。</li> </ul>	・支援の振り返りが現在行っている方法でよいのか職員間で検討していきます。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多職種で記録を行うことで、様々な視点からの気づきができるようにしています。</li> <li>・日々の記録を週単位で検証し、改善につなげています。</li> </ul>	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6	0		
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	・基本的には児童発達支援管理責任者が出席しています。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要時にいつでも連絡をとれる体制を整えています。</li> <li>・療育関係者等連絡会議に参加し、情報共有をしています。</li> <li>・今年度は個別ケースに対して連絡をとることはありませんでした。</li> </ul>	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要時にいつでも連絡をとれる体制を整えています。</li> <li>・豊橋市の自立支援協議会内の医療的ケアに関する検討会に参加しています。</li> </ul>	
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用前に必ず主治医の診療情報提供書を提出してもらい、児の医療情報を把握するようにしています。</li> <li>・必要時、緊急時には協力医療機関(豊橋市民病院)と連絡体制をとります。</li> </ul>	
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	4	・行っていません。	・保育所等との並行利用や移行のケースはありませんが、そのような場合は情報共有等を行っていきます。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	0	・特別支援学校と入学前後に情報共有を行っています。	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・例年は研修を行っていますが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため研修は行っていません。</li> <li>・併用している児童発達支援事業所とは、サービス担当者会議で情報交換を行っています。</li> </ul>	
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	6	・現在は行っていません。	・新型コロナウイルス感染症の流行が落ち着いた段階で、交流できる場がないか検討していきます。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	3	・センター内の他部署の職員が自立支援協議会子ども部会に参加しています。	
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	・送り迎えの際に家庭での様子の聞き取り、療育中の様子を直接伝える他、通園ファイルを利用してやりとりをしています。	・職員間の情報共有を確実に行うように努めます。
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアレントトレーニングではありませんが、専門職や先輩保護者を講師とした講座を年に数回行っています。</li> <li>・今年度は新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、外部講師の講座は中止しました。</li> </ul>	・保護者が知りたい内容の講座を開催できるよう努めます。
㉜	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	・事務担当が説明を行っています		
㉝	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	0			
㉞	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年に2回、個別懇談会を行っています。</li> <li>・日々、保護者の様子を見て声をかけたり、保護者から相談してもらえそうな雰囲気心掛けたりするなど、いつでも対応できるようにしています。</li> </ul>		

保護者への説明責任等	⑳	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	5	・父母の会はありませんが、療育参観や園外行事、ゆり組講座等の際に保護者同士の交流が図れるようにしています。	・外国籍の保護者は他の保護者と交流をすることが難しいので、支援できることがないか検討していきます。
	㉑	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0		
	㉒	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	・昨年度より「ゆり組通信」を発行して活動の様子を伝えています。 ・行事予定などはその都度保護者に丁寧に伝えるようにしています。	
	㉓	個人情報の取扱いに十分注意している	6	0	・毎年、利用契約における個人情報使用同意書に対して署名をして頂いて、個人情報を適切に取り扱うように注意しています。 ・写真利用の場合は、その写真ごとに同意を得るようにしています。	
	㉔	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	・子どもの表情や体調などを丁寧にみながら、できるだけ子どもの気持ちを推し量るよう努力しています。 ・保護者に対しては、わかりにくい専門用語を使わないように気を付け、わかりやすく伝えられるよう工夫しています。 ・外国籍の保護者に対しては、やさしい日本語を使うことを心掛け、必要に応じて通訳を依頼しています。	
	㉕	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	6		・行事に地域住民を招待することは考えていませんが、どのようにしたら地域に開かれた事業運営ができるかを検討していきます。
非常時等の対応	㉖	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	0	・各種マニュアルを策定し、急変時の訓練や研修を定期的に行っています。	
	㉗	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	・毎月、災害に対する避難訓練を実施しています。 ・保護者に災害に対する避難訓練の様子を見て頂く機会を設けています。	
	㉘	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等、子どもの状況を確認している	6	0	・内服薬変更時は処方箋のコピーを提出して頂き、変更内容の確認と変更理由や症状を看護師が確認後、職員間で共有しています。 ・てんかん発作時の対応は保護者に確認し、職員間で情報共有をしています。	
	㉙	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	0	・アレルギーのある場合は、食事を提供するレストランからの情報と照らし合わせてアレルギーを含む食事以外のメニューを注文しています。	
	㉚	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	1	・センター全体で共有しています。	
	㉛	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0		
	㉜	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	0	6	・身体拘束は行っていません。	・原則として身体拘束は行わないため、組織としての決まりはありません。今後必要となる場合があれば検討します。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。